

・児童の言葉を基に課題を設定する。



・見通しの段階は、直接指導を行い、自力解決の段階は、両学年の様子を見ながら、必要に応じて支援をする。

・「同じ数のまとまり」に着目すれば、かけ算が使えるのではないかとこの見通しを共有させる。

・図を印刷した発表ボードを配布して考えさせる。

・1つの方法が分かったら、他の方法でもできないか考えさせる。

・発表ボードに、他の人が見ても分かるように同じ数のまとまりを線で囲んだり、数字を書いたりして式と対応させる。

・自力解決が困難な児童には、「同じまつのまとまり」がどれなのか支援をし、●を囲む作業に取り組ませる。

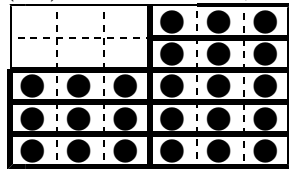
2 解決の見通しを立て、自力解決をする。(K4【活動】)

・同じ数のまとまりで考えれば、かけ算がつかえそう。

(予想される児童の考え)

① 同じ数のまとまりがいくつと考えるとかけ算をする。

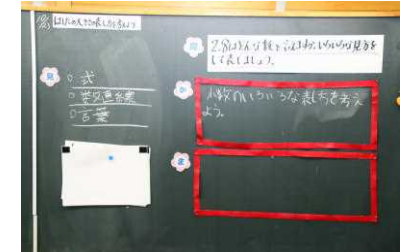
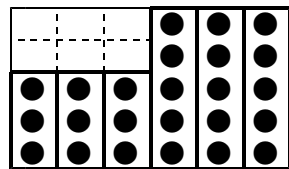
(ア) 3のまとまりが8こ



$3 \times 8 = 24$
答え 24こ

② 同じ数のまとまりごとに分けてかけ算をしてそれぞれの答えを合わせる。

(イ) 3のまとまりが3つと5のまとまりが3つ。それをたす。

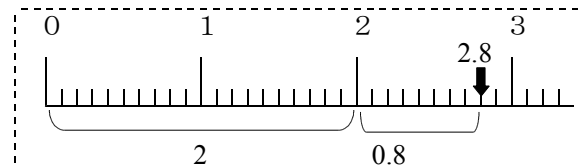


2 解決の見通しを立て、自力解決をする。(K4【活動】)

・大きな数の表し方で考えたように、数直線を使うと式や言葉で表わしやすい。

(予想される児童の考え)

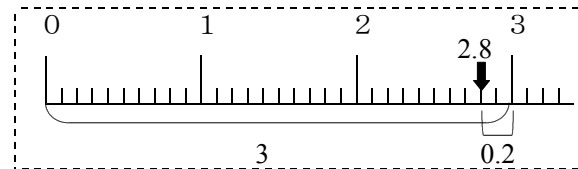
① 整数+小数という考え方



(ア) 言葉
2.8は、2と0.8を合わせた数

(イ) 式
 $2 + 0.8 = 2.8$

② 整数-小数という考え方



・見通しの段階は、直接指導を行い、自力解決の段階は、両学年の様子を見ながら、必要に応じて支援をする。

・数直線で表すと考えやすいということに気付かせる。

・画用紙に数直線を印刷して配布する。

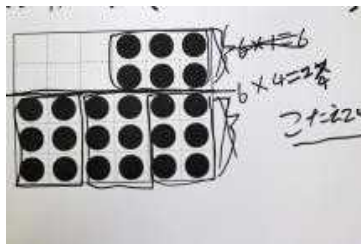
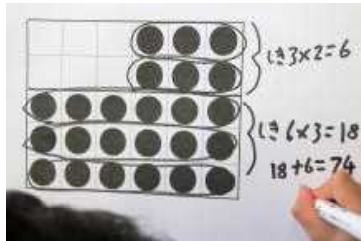
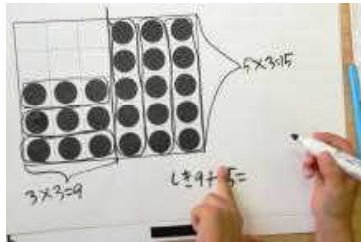
・数直線上に2.8を表した上で、多様にとらえさせ、表現させる。

・数直線と言葉、数直線と式を関連付けて表現するようにさせる。

・1つの表し方ができたら、他の表し方ができないか考えさせる。

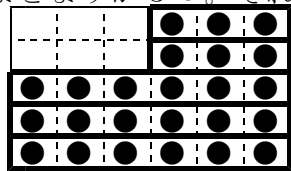
・数直線に表現できない児童には、式または言葉で表させる。

同じ数がいくつあるか確認させ「〇こ」の「いくつ分」を乗法の式に表させる。(ヒントカードの使用)



$3 \times 3 = 9$
 $5 \times 3 = 15$
 $9 + 15 = 24$
 答え 24こ

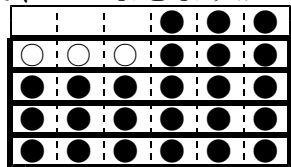
(ウ) 3のまとまりが2つと6のまとまりが3つ。それをたす。



$3 \times 2 = 6$
 $6 \times 3 = 18$
 $6 + 18 = 24$
 答え 24こ

③ 移して同じ数のまとまりがいくつと考えた

(エ) 3のまとまりの場所を移して、6のまとまりが4つと考えた

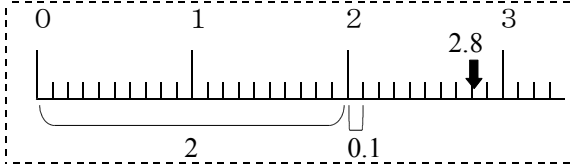


$6 \times 4 = 24$
 答え 24こ

(ウ) 言葉
2.8は、3より0.2小さい数

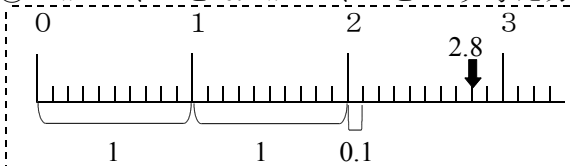
(エ) 式
 $3 - 0.2 = 2.8$

③ 整数と0.1がいくつという考え方



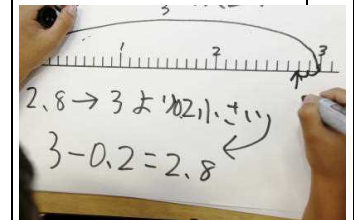
(オ) 言葉
2.8は、2と0.1を8つ合わせた数

④ 1がいくつと0.1がいくつという考え方



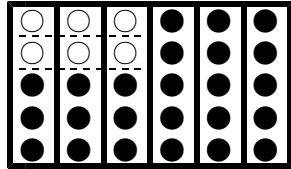
(カ) 言葉
2.8は、1をふたつと、0.1を8つ合わせた数

・言葉でも式でも表現できない児童には、数直線に数値を記入し□に数を当てはめるヒントカードを配布する。





④ない部分をあとみて考えた
 (オ) 5のまとまりが5つあると
 みてそこから2のまとまり3つ分
 をひいた



$$\begin{aligned} 5 \times 6 &= 30 \\ 2 \times 3 &= 6 \\ 30 - 6 &= 24 \\ &\text{答え } 24 \text{ こ} \end{aligned}$$

<評価>

【考】ものの数の求め方を、乗法を用いて解決できるように工夫して考え、図などを使って説明している。

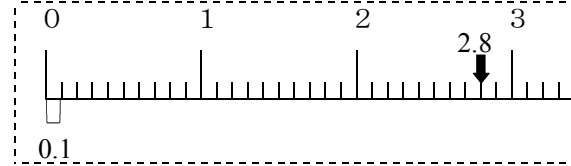
<評価方法> 【観察、発表ボード】

- A 同じ数のまとまりに着目して、図と式を関連づけて、乗法を用いて2つ以上の方法でわかりやすく説明している。
- B 同じ数のまとまりに着目して、図と式を関連づけて、乗法を用いて1通りの考え方で説明している。
- C 同じ数のまとまりに着目できず、乗法の考え方で説明できない。

～Cの児童への手立て～

◇同じ数のまとまりを作った図を与えて考えさせる。

⑤0.1がいくつ分という考え方



(キ) 言葉

2.8は、0.1を28こ集めた数

<評価>

【考】小数の仕組みを基に、数直線や式を用いて、2.8の多様な見方について考え、表現している。

<評価方法> 【観察・発表ボード】

- A 小数の仕組みを基に、数直線と式、言葉などを関連させて、2.8の表し方を考え、2つ以上の方法でわかりやすく表現している。
- B 小数の仕組みを基に、数直線と式、言葉に関連させて2.8の表し方を考え、1通りの方法で表現している。
- C 数直線の仕組みを理解することができず、2.8を表すことができない。

【Cの児童への手立て】

◇数値を入れて2.8を表現した数直線図を与えて考えさせる。

・2年生中心に直接指導をする。
 ・両学年の児童の様子を見ながら、必要に応じて直接指導に入る。

・自分の考えを、図と式とを関連させながら、友達によくわかるように表現を工夫させる。

・(エ)や(オ)の考えが児童から出ない場合は、教師から提示して、どのように考えたか説明させ、式で表すようにする。

・同じ数のまとまりを意識して発表させる。また、聞く側にもこの点に注意して聞くようにさせる。

・記録係に各自の考え方のキーワードを板書させる。

・考えの共通点に着目させて考えを整理させる。

・どの考えも、同じ数のまとまりに着目してかけ算で求めていることに気付かせる。

・4つの考え方のネーミングは、児童の言葉を基に行う。



3 各自の考えを発表し合い検討する。(K4【活動】)

・(ア)は、3のまとまりが8つ分なのですぐかけ算が使える。

・(イ)と(ウ)は、数のまとまりごとにかけ算をしてその答えを合わせている。だから同じ考え方。

・(エ)は、3こを移動させると、6のまとまりが4こできる。すぐにかけ算にできる。

・(オ)は、ないところをみると5のまとまりが6つ分と考えられてかけ算が使える。もともとなかったところを引くと答えが出る。もともとなかった部分は、2が3つ分なのでかけ算ですぐに計産できる。

・どの考え方も、「同じ数のいくつ分」という考え方でかけ算にしている。

・(ア)(エ)は、「同じ数のまとまり」がいくつあるかとすぐにわかるので、かけ算の式1つで表せる。

①は、まとまり作戦

②は、わけてたす作戦

③は、移動作戦

④は、うめてひく作戦



3 各自の考えを発表し合い検討する。(K4【活動】)

・(ア)を式に表すと(イ)になるので同じ考え方。

・(ウ)を式に表すと(エ)になるので同じ考え方

・(オ)は、2(整数)と0.1がいくつ分という考え方

・(カ)は、2.8を1がいくつと0.1がいくつと考えている。

・(キ)は、2.8を0.1がいくつ集まった数かと考えている。

・①は、整数+小数作戦

②は、整数-小数作戦

③は、整数と0.1いくつ分作戦

④は、1がいくつ0.1がいくつ分作戦

⑤は、0.1いくつ分作戦



・2年生中心に直接指導をするので、3年生は学習リーダーを中心に進めさせる。

・両学年の児童の動きをみつつ、必要に応じて直接指導に入る。

・数直線と式、数直線と言葉を対応させながら、友達によくわかるように表現を工夫させる。

・上記5種類の考え方のうちで、児童から出ない場合は、教師が提示する。

・記録係に、各自の考え方のキーワードを板書させる。

・考えの共通点に着目させて考えを整理させる。

・整理した後、考え方に名前をつけて、5つの考え方それぞれの特徴を明確にしておく。

・式だけ、言葉だけの児童の発表については、どのように数直線に表すとよいのかを、他の児童に、式、ことばと関連づけてさせて発表させる。

・5つの考え方のネーミングは整数を多様に見た学習を振り返りながら、児童の言葉を基に行う。

・練り上げの観点を与えておき、児童中心に、共通点で整理

4 まとめをする (K4【確認】)

●の数を計算でもとめるには、「同じ数のまとまり」がいくつあるか考えてかけ算をつかうとよい。

・できるだけ児童の言葉を基にしてまとめるようにする。



4 まとめをする (K4【確認】)

できるようにしたい。

小数は、整数+小数、整数-小数、整数と0.1がいくつ、1がいくつ0.1がいくつ、0.1のいくつ分と表すことができる。



・できるだけ児童の言葉を基にしてまとめるようにする。

10

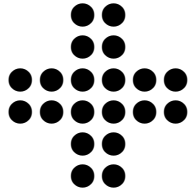
・自分の一番やりやすい解き方で解かせる。
「同じ数のいくつ分」が分かるように●を線で囲ませる。
・ホワイトボードの、練習問題スペースに提示させ発表させる。



・本時の学習を振り返り、ノートに感想を書かせる。
・学年内で感想を発表し合い、その後、2、3年生で交流させる。

5 適用問題に取り組む。(K4【確認】)

●の数をくふうしてもとめましょう



6 学習を振り返る。(K4【価値づけ】)

・学習を振り返り、ノートに感想を書き、発表し合う。

5 適用問題に取り組む。(K4【確認】)

4. 9はどのような数ですか

- ① 4.9は4と□を合わせた数です。
- ② 4.9は、1を□こと0.1を□こ合わせた数です。
- ③ 4.9は、0.1を□こ集めた数です。
- ④ $4.9 = \square - 0.1$
- ⑤ 4.9は、4と0.1を□こ合わせた数です。

6 学習を振り返る (K4【価値づけ】)

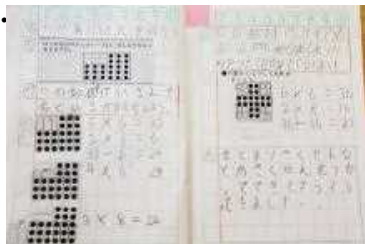
・学習を振り返り、ノートに感想を書き、発表し合う。

・学習したことを使って問題を解く。
・ホワイトボードの練習問題スペースに提示させ発表させる。



・本時の学習を振り返り、ノートに感想を書かせる。
・学年内で感想を発表し合い、その後、2、3年生で交流させる。

10



・どのような学習をしてどのようなことが分かったかについて、3年生と交流する。

・どのような学習をしてどのようなことが分かったのかについて、2年生と交流する。

